



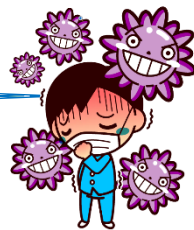
やさしく
かしこく
たくましく

平成29年11月17日(金)

文責 園田

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

ついに、あいつがやって来た!



2・3週間ほど前、平戸市内でインフルエンザが発生し罹患する小学生も出ていました。その際、本校は罹患者もなく、学習発表会も無事にできたのですが、振替の休みが明け今週に入り、ついに本校でもインフルエンザが発生しました。明日から土日でお休みです。週末は寒さも厳しくなるような予報が出ていますが、広がりや今週で治まり来週からはみんな元気に登校できることを願っています。14日には保健だより「すこやか」でも改めてお知らせしましたが、インフルエンザや風邪等の予防と感染拡大防止の為に、ご家庭におかれましては下記のことを励行して頂きますようお願いいたします。

風邪・インフルエンザに注意!

- 手洗い・うがいを確実に行う。
- 適度に部屋の換気を行う。
- 十分な睡眠と休養をとる。
- 栄養のバランスのとれた食事をしっかりとる。
- 適度な運動で体の抵抗力・免疫力を高める。
- せきエチケットを守る。
 - ・せき・くしゃみがある時はマスクをつける。
 - ・マスクをつけていない場合は、ティッシュやハンカチ、または手や腕などで口と鼻を覆う。



こんな時は

静かにじっくり読書に親しむチャンスです!

「東っ子図書館だより」にもあったように10月27日～11月9日は『秋の読書週間』期間でした。今回の読書標語は『本に恋する季節です!』

本校でも、10月23日～10月31日は『10月の家族ふれあい読書週間』の取組を行いました。ちなみに9月の『家族ふれあい読書』の取組結果は下記のとおりです。

1年	2年	3年	4年	5年	6年
93%	55%	21%	86%	90%	86%



全国学校図書館協議会の調査によると、小学校就学前(入学前)に、家庭でよく読み聞かせをしてもらった子どもほど、今、現在の読書量が多く、「不読率」(一ヶ月間に一冊も読まなかった人の割合)は低いのだそうです。また、『家族に本を読んでもらうことが好きだった』という小学生は57%もいるそうです。

幼児や小学生の頃に本の楽しさ、読書の楽しさを知ると、成長してからも読書が身近なものになっているようです。

みなさんも子どもの頃、寝る前のわずかな時間、絵本を読んでもらった経験があるでしょう。そして親になってからは、子どもを寝かしつける時、読んであげたりした思い出があるのではないのでしょうか。そんな時、子どもは本の中の世界に旅をし、その内容にワクワクしたり、ドキドキしたりするはず。本や読書の楽しさを感じた子どもが多いと思います。更に、その時同時に、温かくて、なんだか心がホッとする親や家族の温かさや優しさ、愛情をも感じたはずです。親子、家族の絆が深まるひと時でもあります。そんな気持ちと思い出が読書に対する印象を更に良いものにするのだと思います。静かに、心落ち着かせ、読書に親しむ。そんな豊かな時間が増えるといいですね。